令　和　7　年　度

航　空　旅　客　動　態　調　査

報　告　書

（速報版）

＜日集計表＞

令和８年 10 月

国土交通省　航空局

令和７年度　航空旅客動態調査 報告書
＜ 日集計表 ＞

目　次

第１部　調査概要

１.航空旅客動態調査について 1-1
２.調査内容 1-1
３.調査対象 1-4
４.調査方法 1-4
５.調査実施日 1-4
６.調査票回収状況 1-4
７.日別集計表：利用に際しての留意事項について 1-6

第２部　平日調査集計結果

平日　表１　ＯＤ表（空港間純流動） 2-1
平日　表２　ＯＤ表（空港間総流動） 2-9
平日　表３　ＯＤ表（県間流動） 2-17
平日　表４　空港別　出発地・目的地・現住所 2-20
平日　表５　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数 2-265
平日　表６　ＯＤ別　旅行目的 2-267
平日　表７　ＯＤ別　旅行日数 2-275
平日　表８　ＯＤ別　旅行行程 2-282
平日　表 9-1　路線別　利用航空券の種類 2-289
平日　表 9-2　路線別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳） 2-295
平日　表 9-3　ＯＤ別　利用航空券の種類 2-302
平日　表 9-4　ＯＤ別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳） 2-310
平日　表 10　ＯＤ別　乗り換え空港 2-319
平日　表 11-1　出発空港別最終アクセス手段・到着空港別最初イグレス手段・駐車場利用の有無 2-336
平日　表 11-2　出発空港別　代表アクセス手段・到着空港別代表イグレス手段 2-345
平日　表 12　出発空港別　アクセス所要時間・乗り換え回数 2-354
平日　表 13　出発空港別　アクセス経費 2-358
平日　表 14　出発空港別　見送り人数・空港滞留時間 2-362
平日　表 15-1　空港間移動の手段 2-367
平日　表 15-2　空港間移動の所要時間 2-369
平日　表 15-3　空港間移動の経費 2-370

平日　附表１　路線別内際乗継利用回答状況（海外→国内線乗継） 2-371
平日　附表２　路線別内際乗継利用回答状況（国内線→海外乗継） 2-377

第３部　休日調査集計結果

休日　表１　　ＯＤ表（空港間純流動） 3-1
休日　表２　　ＯＤ表（空港間総流動） 3-9
休日　表３　　ＯＤ表（県間流動） 3-17
休日　表４　　空港別　出発地・目的地・現住所..... 3-20
休日　表５　　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数..... 3-265
休日　表６　　ＯＤ別　旅行目的..... 3-267
休日　表７　　ＯＤ別　旅行日数..... 3-275
休日　表８　　ＯＤ別　旅行行程..... 3-282
休日　表 9-1　路線別　利用航空券の種類 3-289
休日　表 9-2　路線別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳） 3-295
休日　表 9-3　ＯＤ別　利用航空券の種類 3-302
休日　表 9-4　ＯＤ別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳） 3-310
休日　表 10　ＯＤ別　乗り換え空港 3-318
休日　表 11-1 出発空港別最終アクセス手段・到着空港別最初イグレス手段・駐車場利用の有無.....3-337
休日　表 11-2 出発空港別　代表アクセス手段・到着空港別代表イグレス手段 3-346
休日　表 12　出発空港別　アクセス所要時間・乗り換え回数 3-355
休日　表 13　出発空港別　アクセス経費 3-359
休日　表 14　出発空港別　見送り人数・空港滞留時間..... 3-363
休日　表 15-1 空港間移動の手段..... 3-368
休日　表 15-2 空港間移動の所要時間 3-370
休日　表 15-3 空港間移動の経費..... 3-371
休日　附表１　路線別内際乗継利用回答状況（海外→国内線乗継） 3-372
休日　附表２　路線別内際乗継利用回答状況（国内線→海外乗継） 3-378

第１部

調　査　概　要

１．航空旅客動態調査について

航空旅客動態調査（以下、本調査と呼称する）は、わが国における国内航空旅客の流動パターン（出発地・出発空港・乗換空港・目的空港・目的地)、航空旅客の属性・旅行目的・個人属性、空港のアクセス・イグレスの実態、国際線との乗り継ぎ状況等の基礎的データについての調査を行うことにより、国内線航空旅客の流動特性を把握し、今後の航空行政を検討するための基礎資料を得ることを目的としている。なお、調査は統計法に基づく一般統計調査として、国土交通省航空局が国内航空各社のご協力を頂きながら実施をしているものであり、第 1 回の昭和 48 年調査より、隔年での実施を基本とし、令和 7 年度調査は第 28 回次の調査となっている。

２．調査内容

本調査は、以下に示す調査項目にて構成しており、各設問は次頁の調査票見本に示すとおりである。本調査は、「平日調査」と「休日調査」の 2 回を実施しているが、いずれも全く同一の調査票を用いて実施している。ただし、双方の調査票を区別するため、平日調査票は黒色、休日調査票は濃青色にて印字した調査票を用いて実施している。

（１）出発地
（２）空港アクセス実態
　① 利用交通手段
　② 所要時間
　③ 経費
　④ 空港滞留時間
　⑤ 自家用車、社用・公用車での来港者の駐車場利用の有無
（３）出発空港
（４）利用航空券の種類・座席の種類
（５）乗継空港・到着空港
（６）到着空港イグレス交通手段
（７）目的地
（８）旅行目的等
　① 旅行目的
　② 旅行日数
　③ 旅行行程（往復行程の相違）
　④ 国際線利用の有無と国際線乗り換え空港
　⑤ 同行者数・家族の人数
　⑥ 見送り人数
（９）個人属性
　① 性別
　② 年齢
　③ 職業
　④ 年収（税込み）
　⑤ 現住所・国
　⑥ 家族同行者の属性（性別・年齢・職業・年収）

0000001

秘

航 空 旅 客 動 態 調 査 票

Travel Survey for Domestic Air Passengers

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

国土交通省では、飛行機を利用されている皆様がより安全・快適に旅行をしていただけるよう、今後の航空政策の立案企画に活用するため「航空旅客動態調査」を実施しております。

この調査は無記名で実施し、ご記入いただいた内容は統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることはございません。

お手数をおかけ致しますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

This questionnaire is a part of a survey being conducted by Japan's Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism to review future Japanese transport policy. The obtained information will not be used for any other purposes. Thank you for your cooperation.

※ご回答の前に、ご一読ください。

1. **日帰り旅行の帰りの方**：行きの便でお答え頂いた場合でも、お手数ですが**帰りの行程をお答えください。**
2. **国内線からこの便に乗り継がれた方**：前の便でお答え頂いた場合には**この調査票でお答え頂く必要はありません。**
3. **ご家族（現住所が同一の方）で旅行されている方**：**代表者の方1名のみ**お答えください。
4. **以下の質問にお答えください。選択式の問いは該当する番号を○で囲んでください。**
   Please provide the information requested below.
   If you do not read Japanese, please answer only questions 1 and 5-1.

English Question

問1. 今回の旅行についてお聞きします（Question1. Please answer for this travel.）

問1-1： 旅行の主な目的を1つお答えください What is the main purpose of the travel?

1	**仕事 または その帰り Business** 仕事には、本社・支店・取引先などの訪問、学会・展示会・講演会の開催・参加、有給の研究・教育・調査活動を含む。
2	**観光 または その帰り Sightseeing/Recreation/Shopping** 観光には、温泉、街歩き、ショッピング、イベント参加、コンサート・演劇観賞・美術展、レクレーションとしてのスポーツ活動・観戦、体験学習含む。
3	**私用・帰省 または その帰り Visiting friends or relatives** 私用・帰省には、親類や友人宅への訪問、冠婚葬祭等への出席、通院、習い事、介護のための帰省など仕事、観光以外の目的を含む。

問1-2： 旅行日程をお答えください How many days is the travel schedule?

1	日帰り One day	全体日数 All schedule		泊 Nights		日 Days	本日の行程 Which day is today in your itinerary? 日目
2	日帰りではない → Two days or more						

問1-3： 旅行の帰り（または行き）に、現在と同じ航空路線を利用しますか（しましたか） Are your inward and outward-bound same flight routes?

1	利用する（利用した） Same Route	2	他の航空路線を利用する（利用した） Different Route
3	他の交通機関を利用する（利用した） Different mode of transportation		
4	転居・赴任等により片道の旅行 One way	5	未定 undecided

Next Question in English (Q 5-1)

質問は裏面に続きます

問2. 直近の出発地からご搭乗便の出発空港までの移動についてお聞きします

直近の出発地

問2-1： 直近の出発地＊はどこですか

＊現在ご搭乗便の出発空港前に最後にお立ち寄りになられた場所（駅、バス停、空港、港は除く）

1	ご自宅 ※単身赴任等の場合は、赴任先等でのお住まいをご自宅としてください。
2	その他（観光地・ホテル・職場など） 都道府県名 ［　　］ 市区郡町村名 ［　　］ 直近で海外から来られた方は、国・地域名をご記入ください 分からない場合は、ホテル名、観光地名などをご記入ください

問2-2： ご搭乗便の出発空港までに利用した交通機関を順番にご記入ください

直近の出発地（問2-1でご回答の場所） → ［　］ → ［　］ → ［　］ → ［　］ → ［　］ → ご搭乗便出発空港（問3-1でご回答の場所）

交通機関番号をご記入ください

1. 新幹線
2. 有料特急（新幹線除く）
3. JR在来線（新幹線・特急除く）
4. 私鉄・地下鉄
5. モノレール
6. 空港直行バス（主要駅から空港直行）
7. 高速バス（空港直行以外）
8. 貸切りバス・観光バス
9. 路線バス・市内電車
10. タクシー・ハイヤー
11. 自家用車、社用・公用車
12. レンタカー
13. 船
14. 国際線
15. その他（徒歩・自転車等）

車の状況をご選択ください

1	車は空港内の駐車場に停めている
2	車は空港外の近くの駐車場に停めている
3	車は同乗者が乗って帰った

日本到着空港はどちらですか？ ［　　空港］

⇒国際線到着空港で直接ご搭乗便に乗り継いだ方は問3へ

ご搭乗便出発空港

問2-3： 出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時間何分前ですか

［　　時間］ ［　　分］ 前

問2-4： 直近の出発地（国際線を利用された方は、国際線到着空港）からご搭乗便の出発空港までの所要時間・一人当たりの交通費をお答えください

該当する番号 1つ に○をお付けください

所要時間	1	30分以内	2	31分～1時間	3	1時間1分～1時間30分	4	1時間31分～2時間
	5	2時間1分～2時間30分	6	2時間31分～3時間	7	3時間以上		

交通費	1	1,000円以下	2	1,001～2,000円	3	2,001～3,000円	4	3,001～4,000円
	5	4,001円～5,000円	6	5,001～10,000円	7	10,001円以上		

令和７年度 航空旅客動態調査　調査票 見本 （２）

問3. ご搭乗便と今後の国内乗り継ぎ便についてお聞きします

問 3-1： ご搭乗便の出発空港・国内最終空港(到着空港)と乗継空港をご記入ください

出発空港：空港　→　国内最終空港(到着空港)：空港

乗継ぎの場合：乗継空港①※：空港　→　乗継空港②：空港　→　国内最終空港(到着空港)：空港

※飛行機を乗り継ぐために陸路を移動する場合の乗継空港もご記入ください
（福岡空港→成田空港-(陸路)→羽田空港→旭川空港 等）

問 3-2： ご搭乗されている便の航空券の種類・運賃をお答えください

1	普通運賃	2	往復割引	3	乗継割引	4	マイレージ特典
5	回数券	6	団体運賃・ツアー 等	7	その他割引運賃		

１２３７を選択された方　運賃(ご搭乗便(片道)の購入料金)：　円/人

問 3-3： ご搭乗されている便の座席の種類をお答えください

1	普通席	2	普通席以外(ファーストクラス、クラスJ：JAL、プレミアムクラス：ANA等)

問4. ご搭乗便の国内最終空港(到着空港)から次の目的地までの移動についてお聞きします

国内最終空港(到着空港)

問 4-1：国内最終空港(到着空港)から次の目的地まで利用予定の交通機関を順番にご記入ください

※国内線を乗り継ぐ方は、乗継到着空港から次の目的地までの交通機関をご記入ください

到着空港 → □ → □ → □ → □ → □ → 次の目的地（問 4-2 でご回答の 場所）

交通機関番号をご記入ください(問 2-2 の選択肢を参照ください)

14. 国際線を選択された方
日本出発空港はどちらですか？　空港

次の目的地

問 4-2：次の目的地＊はどこですか

＊国内最終空港(到着空港)到着後に最初に訪問する場所(駅、バス停、空港、港は除く)

↓該当する番号に○をお付けください

1	ご自宅 ※単身赴任等の場合は、赴任先等でのお住まいをご自宅としてください。
2	その他(観光地・ホテル・職場など)　都道府県名：　市区郡町村名：

海外に行かれる方は、国・地域名をご記入ください

分からない場合は、ホテル名、観光地名などをご記入ください

質問は裏面に続きます

問5. あなたご自身や同行されているご家族についてお聞きします

問5-1： あなたご自身の現住所はどこですか What is your home address?

English Question

日本以外にお住まいの方 For those living outside of Japan

Country of Residence		Nationality	
What is your annual income before tax?		Check one of the currency units JPY/KRW/CNY/USD/EUR	

日本にお住まいの方 For those living in Japan

ご自宅 Home Address	都・道・府・県 Prefecture	市・区・町・村 City/Ward/Town/Village

単身赴任等で、長期間にわたり自宅から離れている場合は、赴任先等の住所をご記入ください。

問5-2： 同行者についてお答えください

本日のご旅行者は、あなたを含めて何人ですか？　人

そのうち、ご家族(ご自宅が同一の方)は、あなたを含めて何人ですか？　人

問5-3： あなたの性別・年齢・職業・年収について選択肢から番号を１つ 選んでご記入ください
また、同行されているご家族(ご自宅が同一の方)がおられる場合はご家族についてもご記入ください

	選択肢	記入例	あなた	家族1	家族2	家族3	家族4	家族5
性別	1. 男　2. 女　3. その他　4. 回答したくない	1						
年齢	1. 14 歳以下　2. 15～19 歳　3. 20～24 歳　4. 25～29 歳 5. 30～34 歳　6. 35～39 歳　7. 40～44 歳　8. 45～49 歳 9. 50～54 歳　10. 55～59 歳　11. 60～64 歳　12. 65～69 歳 13. 70～74 歳　14. 75～79 歳　15. 80 歳以上	6						
職業	1. 会社などの従業員　2. 会社などの役員 3. 公務員・団体などの職員　4. 農林・漁業 5. 自営業・フリーランス（農林・漁業を除く） 6. 専門職（開業医・弁護士・大学教員・政治家など） 7. 派遣社員・契約社員等　8. パート・アルバイト 9. 主婦・主夫（職業従事者を除く）　10. 学生・生徒・園児など 11. 無職　12. その他	2						
年収＊	日本以外にお住まいの方は本設問の対象外となりますので、次の設問にお進みください。 1. なし　2. 100 万円未満　3. 100～199 万円 4. 200～299 万円　5. 300～399 万円　6. 400～499 万円 7. 500～699 万円　8. 700～999 万円　9. 1,000～1,499 万円 10. 1,500～1,999 万円　11. 2,000 万円以上	6						

＊ 勤め先(パート先・アルバイト先も含む)から得た給与、自営収入、不動産収入、配当、年金・給付金などの概算額をお答えください。
＊ 年収についての設問は、旅客の平均的な年収を算出することにより、航空利用者全体の時間に対する価値観(時間価値)を計算し、航空政策の参考とするためにお聞きしています。

問5-4： 空港までのお見送りの方についてお答えください(小学生以上)

1	見送りはない	お見送りの人数	人
2	見送りがあった →		

ご協力ありがとうございました
Thank you for your cooperation on this important survey.

３．調査対象

本調査は、調査実施日に運航する、国内線定期便及び定時運航する不定期便を利用する、全航空旅客を対象としている。

４．調査方法

本調査の調査方法は、国内航空各社（23 社）からのご協力を得て、原則として客室乗務員が調査対象者（航空旅客）に、航空機内において調査票を配布・回収する形式にて行っている。

ただし、機内での配布・回収が困難な航空便（フライト時間が短い、客室乗務員が乗務しない 等々）においては、搭乗口にて配布・機内で回収を行う方法や、あらかじめ座席に調査票をセットして機内で回収する方法、搭乗手続き時に職員が調査票を配布・搭乗前に回収を行う方法等を用いている。

５．調査実施日

本調査は、平日と休日の旅客流動特性の違いを把握するため、平成 17 年度より平日調査と休日調査の 2 回（各 1 日）を行っている。

令和 7 年度調査においては、調査日を「令和 7 年 10 月 15 日（水）【平日調査】」、「10 月 19 日（日）【休日調査】」と設定して実施した。なお、平日運航便のうち、水曜日に運航のない曜日運航便については、10 月 16 日（木）、17 日（金）のいずれかの運航日を調査実施日としている。

また、翌週の同じ曜日を調査予備日として設定し、天候不良等で調査を実施できなかった一部の航空便に対して、再調査を行っている。そのため、休日調査の予備日調査においては 10 月 26 日（日）となり、冬季ダイヤでの実施となった。

６．調査票回収状況

調査実施日における平日・休日調査別の旅客実績及び回収調査票数等は、次ページの表に示すとおりである。

令和７年度 航空旅客動態調査　平日・休日調査別旅客実績・調査票回収結果

	平日調査					休日調査					合計				
	提供座席数	旅客数	搭乗率	回収数	回収率	提供座席数	旅客数	搭乗率	回収数	回収率	提供座席数	旅客数	搭乗率	回収数	回収率
	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)
日本航空株式会社 JALグループ会社（JAIR・JTA・HAC・JAC・RAC）	127,502	104,426	81.9%	63,659	61.0%	127,575	115,511	90.5%	73,855	63.9%	255,077	219,937	86.2%	137,514	62.5%
全日本空輸株式会社 ANAグループ会社（AKX）	141,685	109,206	77.1%	76,304	69.9%	144,398	129,833	89.9%	94,262	72.6%	286,083	239,039	83.6%	170,566	71.4%
スカイマーク株式会社（SKY）	27,612	22,740	82.4%	16,071	70.7%	27,612	25,215	91.3%	17,516	69.5%	55,224	47,955	86.8%	33,587	70.0%
株式会社 AIRDO（ADO）	12,096	10,609	87.7%	7,809	73.6%	12,384	11,558	93.3%	9,186	79.5%	24,480	22,167	90.6%	16,995	76.7%
株式会社ソラシドエア（SNJ）	13,920	10,389	74.6%	7,172	69.0%	13,920	12,451	89.4%	8,420	67.6%	27,840	22,840	82.0%	15,592	68.3%
Peach aviation株式会社（APJ）	20,736	18,653	90.0%	11,697	62.7%	21,470	19,775	92.1%	11,236	56.8%	42,206	38,428	91.0%	22,933	59.7%
ジェットスター・ジャパン株式会社（JJP）	13,180	12,365	93.8%	8,739	70.7%	16,838	15,669	93.1%	11,514	73.5%	30,018	28,034	93.4%	20,253	72.2%
株式会社スターフライヤー（SFJ）	8,628	6,666	77.3%	4,776	71.6%	9,078	8,382	92.3%	6,236	74.4%	17,706	15,048	85.0%	11,012	73.2%
アイベックスエアラインズ株式会社（IBX）	3,780	3,336	88.3%	2,665	79.9%	3,850	3,573	92.8%	2,980	83.4%	7,630	6,909	90.6%	5,645	81.7%
株式会社フジドリームエアラインズ（FDA）	7,456	5,537	74.3%	5,352	96.7%	7,456	6,595	88.5%	6,127	92.9%	14,912	12,132	81.4%	11,479	94.6%
スプリング・ジャパン株式会社（SJO）	756	637	84.3%	333	52.3%	378	354	93.7%	150	42.4%	1,134	991	87.4%	483	48.7%
新中央航空株式会社（CUK）	380	261	68.7%	255	97.7%	380	267	70.3%	240	89.9%	760	528	69.5%	495	93.8%
オリエンタルエアブリッジ株式会社（ORC）	3,084	2,185	70.8%	1,819	83.2%	3,132	2,364	75.5%	2,250	95.2%	6,216	4,549	73.2%	4,069	89.4%
天草エアライン株式会社（AMX）	480	192	40.0%	129	67.2%	480	193	40.2%	122	63.2%	960	385	40.1%	251	65.2%
東邦航空株式会社（TAL）	90	61	67.8%	56	91.8%	90	49	54.4%	40	81.6%	180	110	61.1%	96	87.3%
トキエア株式会社（TOK）	760	465	61.2%	402	86.5%	760	575	75.7%	532	92.5%	1,520	1,040	68.4%	934	89.8%
第一航空株式会社（DAK）	38	6	15.8%	6	100.0%	0	0		0		38	6	15.8%	6	100.0%
合計	382,183	307,734	80.5%	207,244	67.3%	389,801	352,364	90.4%	244,666	69.4%	771,984	660,098	85.5%	451,910	68.5%

７．日集計表：利用に際しての留意事項について

令和７年度の調査結果について、平日調査・休日調査の別に、第２部「平日調査 集計結果」・第３部「休日調査 集計結果」として、集計表（表１から表 15）をそれぞれ整理している。また、次頁以降の各項目において、各表の読み方や利用に際して特に留意する必要がある点を記載するものである。

なお、本表に掲載するいずれの集計表も、本調査に対して回答をした旅客数（回答数）を集計したものである点に留意されたい。

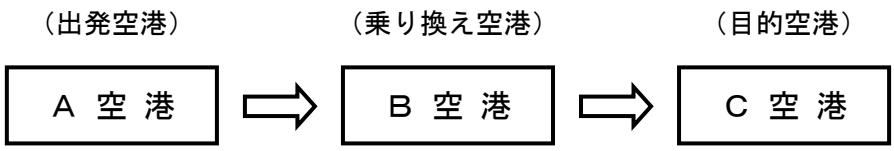
表１　ＯＤ表（空港間純流動表）

表１は、回答者の調査実施日における空港間の純流動ベースでの OD を示した表であり、国内線の乗継の有無にかかわらず、回答者の出発地側の利用空港（出発空港）と目的地側での利用空港（目的空港）の 2 地点間のトリップ（目的を持った移動）に絞った集計表である。このため、表 1 の総トリップ数と回答者数は一致する。

以下の例に示すとおり、調査実施日に A 空港を出発して B 空港で国内線を乗りつぎ、最終的に C 空港に至った旅客は、その途中における乗り換えの有無にかかわらず、[A 空港] → [C 空港] のトリップを行った旅客として集計される。

このため、純流動ベースの OD 表においては、航空路線が開設・運航されていない空港間における流動も集計される。

例　　**（乗り換えを１回行った場合）**



目的空港 ＼ 出発空港	A	B	C
A	0	0	1
B	0	0	0
C	0	0	0

この場合、A 空港から C 空港への移動としてカウントされる。

表２　ＯＤ表（空港間総流動表）

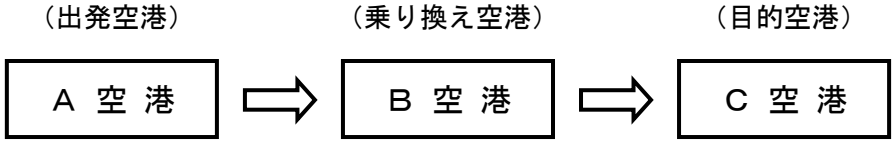
表２は、調査実施日の各路線における回答者数について集計したものであり、空港間の総流動ベースの OD 表である。

空港間総流動は、一人の回答者が複数路線を乗りついだ場合にも、利用した各々の路線に一人ずつを計上する点において、表１（空港間純流動表）と異なっている。

以下の例に示すとおり、A 空港を出発し、B 空港で国内線を乗りつぎ、最終的に C 空港に至った旅客は、[A 空港] → [B 空港] の区間を１トリップ、乗りつぎ先の [B 空港] → [C 空港] の区間を１トリップの計２トリップとして集計される。

したがって、空港間総流動ベースの OD 表では、原則として航空路線が開設・運航されている空港間の流動が集計される。ただし、国内線を乗り継ぐ為に、地上交通機関を利用して空港間を移動した場合（成田－羽田間等）も表２の集計値に含むものである。

例　　**（乗り換えを１回行った場合）**



目的空港 ＼ 出発空港	A	B	C
A	0	1	0
B	0	0	1
C	0	0	0

この場合、A 空港から B 空港、B 空港から C 空港への移動がそれぞれカウントされる。

表３　ＯＤ表（県間流動表）

表３は、回答者の出発地（出発空港側）・目的地（到着空港側）の移動の観点から、都道府県間における流動量を集計したものであり、純流動ベースの OD 表である。

すなわち、回答者がどの都道府県（出発地）からどの都道府県（目的地）への移動に際して航空路を利用したのかについて集計したものであり、航空路の存在しない都道府県間の流動も存在する。また、都道県内々の空港を結ぶ航空路線があるため、同一都道県内々の流動も存在している。

なお、調査実施日において、国際線から国内線への乗りつぎ（または、その逆）を行った回答者については、「海外」を出発地（または、目的地）として集計をしている。また、出発地・目的地が無回答や不明な回答の場合には、「不明」として集計をしている。

表４　空港別　出発地・目的地・現住所

表４は、回答者が利用した出発空港（または目的空港）について、空港を点とした利用範囲の広がりに着目して集計をしたものである。集計項目は、当該空港で国内線に搭乗した回答者の出発地、降機した回答者の目的地（と乗降した回答者の合計値）、並びに当該空港における乗降者の現住所地を示している。

なお、国内線を乗り継いだ回答者は、出発空港と目的空港について集計し、乗継空港の利用は集計に含まない。このため、表１（空港間純流動表）の各空港の出発／到着回答者数と表４の集計値は一致する。

例）表４　空港別 出発地・目的地・現住所（羽田空港）（抜粋）

羽田　　平日　表４　空港別　出発地・目的地・現住所　(10)　　単位：人

地区名		出発旅客数（出発地）	%	到着旅客数（到着地）	%	合計（乗降旅客数）	%	乗降客の現住所	%
東京都	千代田区	1,301	2.3	1,489	2.7	2,790	2.5	253	0.2
	中央区	1,145	2.0	1,288	2.3	2,433	2.2	793	0.8
	港区	2,008	3.5	1,975	3.6	3,983	3.5	1,315	1.3
	新宿区	898	1.6	954	1.7	1,852	1.6	868	0.8
	文京区	431	0.8	440	0.8	871	0.8	633	0.6
	台東区	667	1.2	632	1.1	1,299	1.2	525	0.5
	墨田区	423	0.7	406	0.7	829	0.7	543	0.5
	江東区	983	1.7	1,023	1.9	2,006	1.8	1,283	1.2
	品川区	1,376	2.4	1,455	2.6	2,831	2.5	1,354	1.3

項目	内容
○出発旅客数（出発地）	▪ 羽田空港発の国内線に搭乗した回答者の「出発地」について、市区郡（または、町村）別に人数を集計したものである。「出発地」とは、調査当日の回答者のトリップにおいて、羽田空港に向けて移動を始めた地点である。なお、羽田空港にて国内線を乗り継いだ回答者は、表 4 の集計値に含まない（例：新千歳 発→羽田 乗継→那覇 着など）。 ▪ 上記の例では、千代田区を出発地としてから羽田空港の出発便に搭乗した回答者が 1,301 人であったことを示している。 ※羽田空港を出発した各回答者の到着地については、各々の目的空港における「到着旅客数（目的地）」の項目に集計される。
○到着旅客数（目的地）	▪ 羽田空港着の国内線を降機した回答者の「目的地」について、市区郡（または、町村）別に人数を集計したものである。「目的地」とは、羽田空港から先の回答者のトリップにおける目的地を意味している。なお、羽田空港で降機後、別の国内線を乗り継いだ回答者は表 4 の集計値には含まない（例：新千歳 発→羽田 乗継→那覇 着など）。 ▪ 上記の例では、羽田空港に到着した回答者のうち、千代田区を目的地とする回答者が 1,489 人であったことを示している。 ※羽田空港に到着した各回答者の出発地については、各々の出発空港における「出発旅客数（出発地）」の項目に集計される。
○合計（乗降客数）	「出発旅客数（出発地）」と「到着旅客数（目的地）」の項目の合計値を示している。
○乗降客の現住所	▪ 羽田空港を利用した回答者の現住所地について、市区郡（または、町村）別に人数を集計したものである。なお、羽田空港で国内線を乗り継いだ回答者は表 4 の集計値には含まない。 ▪ 上記の例では、羽田空港を利用した回答者のうち、253 人が千代田区を現住所地と回答したことを示している。

表５　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗継旅客数

表５は、各空港における回答者の国内線乗継利用の割合を示すものである。表中の「出発旅客数(A)」「到着旅客数(B)」は表１（空港間純流動表）による空港別回答者数（各空港を出発空港・目的空港とする回答者数）である。また、各空港内で国内線間の乗継利用をした回答者数を(D)欄にて示し、国内線を乗り継ぐ為に他空港との地上移動を行った回答者は(D)欄に含まず、外部乗継者数として(E)欄に記載している。

例）表５　空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数（抜粋）

平日　表5　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数　(1)

単位：人

空港名	出発旅客数(A)	到着旅客数(B)	合　計(C) (A)+(B)	乗換旅客数(D) (当空港内)	外部乗継者数(E) (当空港外)	取扱旅客数(F) (C)+(D)×2+(E)	乗換旅客率　% (D)×2/(F)
稚内	188	277	465	6		477	2.5
釧路	722	861	1,583	8		1,599	1.0
函館	1,568	1,865	3,433	36		3,505	2.1
旭川	992	933	1,925			1,925	
帯広	654	721	1,375			1,375	
利尻	26	7	33			33	
中標津	230	273	503	3		509	1.2
紋別	57	86	143			143	
女満別	823	725	1,548	8		1,564	1.0
奥尻	35	26	61			61	
丘珠	507	605	1,112	33	9	1,187	5.6
新千歳	19,280	19,427	38,707	646	12	40,011	3.2
青森	1,262	1,418	2,680	10		2,700	0.7
三沢	347	402	749			749	
花巻	492	481	973	4		981	0.8

○出発旅客数（A）	▪	表１（空港間純流動表）による、純流動ベースの空港別出発回答者数。 ※(D)、(E)欄と重複しない。
○到着旅客数（B）	▪	表１（空港間純流動表）による、純流動ベースの空港別到着回答者数。 ※(D)、(E)欄と重複しない。
○乗継旅客数（D） （当空港内）	▪	当空港において国内線間の乗継を行った回答者数。
○外部乗継者数（E） （当空港外）	▪	当空港と周辺の別空港との間で、国内線を乗り継ぐ為に陸上を移動した回答者数。(D)欄の外数。 例）新千歳空港内で国内線を乗り継いだ回答者は 646 人。別途、周辺空港との間を地上移動した回答者が 12 人。
○取扱旅客数（F）	▪	調査実施日における当該空港を利用した回答者の合計。但し、(D)欄を乗降の別で計上するために、2 倍した数字を(F)欄に計上している。また、(E)欄は一方が当該空港外となるため、片側のみ計上する。
○乗継旅客率	▪	当該空港を利用した回答者数全体に対する、国内線間の乗継利用の割合。

表６　ＯＤ別 旅行目的

表６は、空港間純流動ベース（表 1）による空港間 OD ペア別に、旅行目的の状況を集計したものである。

空港間 OD　ペアは、直行便の運航がある平日調査 246 区間・休日調査 243 区間、並びに直行便が運航していないが、20 件以上の空港間 OD が確認された区間について記載し、20 件未満の場合には、「その他 OD」にまとめて記載するものである（以降、表 7・8・9-3・9-4・10 も同様)。

表７　ＯＤ別 旅行日数

表７は、空港間純流動ベース（表 1）による空港間 OD ペア別に、旅行日数の状況を集計したものである。併せて、「日帰り」以外の旅客については、本調査を受けた日が旅行中の何日目であるのか、集計して示している。

「調査を受けた日（宿泊を伴う旅客)」の合計欄の人数は、旅行日数の合計欄の人数から日帰りの人数を除いた値と一致する。

例）表７　OD 別旅行日数（抜粋）

平日　表7　ＯＤ別 旅行日数　(1)　　単位：人

ＯＤ名	旅行日数											調査を受けた日（宿泊を伴う旅客）										
	日帰り	%	1泊2日	%	2泊3日	%	3泊4日	%	4泊5日以上	%	不明	合計	1日目	%	2日目	%	3日目	%	4日目	%	5日目以上	%	不明	合計
羽田-新千歳	1,092	6.6	4,014	24.9	4,239	26.3	3,069	19.0	3,749	23.2	445	16,578	7,470	52.1	1,780	12.4	1,809	12.6	1,304	9.1	1,987	13.8	1,166	15,516
羽田-伊丹	1,176	18.0	2,096	32.1	1,389	21.3	559	8.6	1,301	20.0	179	6,700	2,671	52.4	994	19.5	509	10.0	239	4.7	683	13.4	428	5,524
羽田-関西	224	15.3	410	28.1	291	19.9	125	8.6	411	28.1	83	1,544	585	50.7	219	19.0	109	9.5	53	4.6	187	16.2	167	1,320
羽田-福岡	1,386	9.1	4,801	31.5	3,996	26.2	1,954	12.8	3,117	20.4	300	15,554	7,106	54.0	2,211	16.8	1,460	11.1	808	6.1	1,586	12.0	997	14,168
羽田-那覇	428	3.4	981	7.8	2,920	23.4	4,420	35.4	3,752	30.0	409	12,910	5,774	50.2	446	3.9	1,143	9.9	2,039	17.7	2,094	18.2	986	12,482
成田-新千歳	172	5.8	458	15.6	659	22.4	498	16.9	1,155	39.3	112	3,054	1,234	47.2	240	9.2	298	11.4	238	9.1	602	23.0	270	2,882
成田-伊丹	7	2.1	12	3.6	30	9.0	17	5.1	269	80.3	23	358	133	44.2	7	2.3	10	3.3	6	2.0	145	48.2	50	351
成田-関西	116	11.3	255	24.9	223	21.8	105	10.3	324	31.7	89	1,112	393	47.5	128	15.5	95	11.5	50	6.0	161	19.5	169	996
成田-福岡	96	4.8	397	19.9	510	25.5	306	15.3	690	34.5	96	2,095	778	44.1	240	13.6	222	12.6	162	9.2	361	20.5	236	1,999
成田-那覇	8	0.6	25	1.8	325	23.8	489	35.8	520	38.0	53	1,420	638	50.6	23	1.8	125	9.9	215	17.1	259	20.6	152	1,412
伊丹-新千歳	44	1.7	391	14.8	590	22.4	1,030	39.0	583	22.1	36	2,674	1,483	59.7	182	7.3	267	10.8	268	10.8	283	11.4	147	2,630
伊丹-福岡	142	13.6	356	34.2	288	27.6	122	11.7	134	12.9	19	1,061	476	55.0	161	18.6	107	12.4	52	6.0	70	8.1	53	919
伊丹-那覇	86	4.7	168	9.1	438	23.8	643	34.9	505	27.4	35	1,875	682	41.9	58	3.6	289	17.8	325	20.0	273	16.8	162	1,789
関西-新千歳	22	1.2	290	15.2	520	27.2	529	27.7	548	28.7	47	1,956	945	53.3	121	6.8	226	12.7	196	11.1	285	16.1	161	1,934
関西-福岡	150	19.3	218	28.1	163	21.0	85	10.9	161	20.7	32	809	286	48.1	104	17.5	70	11.8	54	9.1	80	13.5	65	659
関西-那覇	82	3.9	219	10.5	736	35.4	553	26.6	490	23.6	103	2,183	933	50.2	92	5.0	364	19.6	203	10.9	266	14.3	243	2,101
福岡-新千歳	20	1.0	142	6.8	541	26.0	644	30.9	737	35.4	39	2,123	1,126	56.8	77	3.9	180	9.1	209	10.5	391	19.7	120	2,103
福岡-那覇	141	3.7	659	17.2	1,160	30.2	1,081	28.1	801	20.8	136	3,978	1,587	45.5	316	9.1	516	14.8	667	18.8	411	11.8	350	3,837
新千歳-那覇	1	0.2	7	1.4	44	8.9	192	38.8	251	50.7	12	507	285	59.6	11	2.3	11	2.3	74	15.5	97	20.3	28	506
羽田-福内	4	2.1	48	24.9	46	23.8	42	21.8	53	27.5	3	196	130	71.4	13	7.1	10	5.5	4	2.2	25	13.7	10	192

表８　ＯＤ別 旅行行程

表８は、空港間純流動ベース（表 1）による空港間 OD ペア別に、旅行行程の復路〔帰り〕に利用する予定の交通機関（復路に調査を受けた回答者は、往路〔行き〕に利用した交通機関）の状況について集計をしたものである。

表９－１　路線別 利用航空券の種類

表９－２　路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表９－１は、旅客が回答をした搭乗便（路線）における「利用航空券の種類」、並びに「座席の種類」について集計している。利用航空券の種類は、調査票の選択肢に従い、“普通運賃”、“往復割引”、“乗継割引”、“マイレージ特典”、“回数券”、“団体運賃・パッケージツアー等”、“その他割引運賃”の区分にて集計している。

表９－２は、“その他割引運賃”について、具体的な航空運賃の回答結果を基に、回答者搭乗便の普通運賃（令和７ 年 10 月時点）に対する割引率を算出した上で、7 区分にて集計をしている。また、普通運賃が複数存在する路線については*印を示している。

例）表９－１　路線別 利用航空券の種類（抜粋）

平日　表9-1　路線別 利用航空券の種類　(1)

単位：人

路線名	航空券の種類															座席の種類					
	普通運賃	%	往復割引	%	乗継割引	%	マイレージ特典	%	回数券	%	団体・パック	%	その他割引運賃	%	不明	合計	普通席	%	普通席以外	%	不明	合計
羽田-新千歳	5,698	36.6	3,154	20.2	183	1.2	919	5.9	23	0.1	2,258	14.5	3,348	21.5	2,033	17,616	13,948	89.4	1,660	10.6	2,008	17,616
羽田-伊丹	1,738	28.8	1,420	23.5	63	1.0	512	8.5	44	0.7	278	4.6	1,985	32.9	800	6,840	4,964	82.8	1,032	17.2	844	6,840
羽田-関西	454	37.3	266	21.9	12	1.0	138	11.3	9	0.7	48	3.9	290	23.8	345	1,562	1,116	91.6	103	8.4	343	1,562
羽田-福岡	5,508	38.2	3,036	21.1	76	0.5	852	5.9	23	0.2	1,399	9.7	3,516	24.4	1,381	15,791	12,649	87.8	1,759	12.2	1,383	15,791
羽田-那覇	4,164	36.2	2,838	24.7	94	0.8	924	8.0	1	0.0	1,867	16.1	1,632	14.2	1,943	13,463	10,517	90.7	1,075	9.3	1,861	13,453
成田-新千歳	1,714	70.7	366	15.1	11	0.5	19	0.8	1	0.0	113	4.7	201	8.3	654	3,079	2,409	99.4	14	0.6	656	3,079
成田-伊丹	120	54.3	30	13.6	11	5.0	22	10.0			11	5.0	27	12.2	131	352	192	85.0	34	15.0	126	352
成田-関西	552	75.8	64	8.8	1	0.1	6	0.8	6	0.8	16	2.2	83	11.4	378	1,106	715	99.7	2	0.3	389	1,106
成田-福岡	1,312	75.3	229	13.1	11	0.6	5	0.3			29	1.7	157	9.0	351	2,094	1,747	99.8	3	0.2	344	2,094
成田-那覇	726	68.2	179	16.8	1	0.1	8	0.8	1	0.1	107	10.0	43	4.0	349	1,414	1,064	99.2	9	0.8	341	1,414
伊丹-新千歳	757	32.0	512	21.6	24	1.0	163	6.9	2	0.1	538	22.7	369	15.6	221	2,586	2,198	92.2	186	7.8	202	2,586
伊丹-福岡	347	33.4	219	21.1	6	0.6	139	13.4	2	0.2	66	6.4	260	25.0	102	1,141	998	94.8	55	5.2	88	1,141
伊丹-那覇	611	33.8	391	21.6	28	1.5	179	9.9	1	0.1	283	15.6	316	17.5	278	2,087	1,586	86.7	244	13.3	257	2,087

例）表９－２　路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）（抜粋）

平日　表9-2　路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）　(1)

単位：人

路線名	令和7年11月普通運賃	その他割引(0～10%)	%	その他割引(11～20%)	%	その他割引(21～30%)	%	その他割引(31%～40%)	%	その他割引(41%～50%)	%	その他割引(51%～60%)	%	その他割引(61%～)	%	その他割引(不明)	その他割引合計
羽田-新千歳	46,300	13	0.6	193	8.3	79	3.4	83	3.6	272	11.7	183	7.9	1,504	64.6	1,021	3,348
羽田-伊丹	34,600	11	0.8	7	0.5	23	1.7	32	2.4	210	15.8	485	36.6	558	42.1	659	1,985
羽田-関西	33,600	1	0.5	6	3.0	5	2.5	6	3.0	34	16.9	41	20.4	108	53.7	89	290
羽田-福岡	51,900	26	1.1	31	1.3	236	9.8	70	2.9	298	12.5	252	10.5	1,479	61.9	1,125	3,516
羽田-那覇	58,600	9	0.8	32	2.9	34	3.1	50	4.5	82	7.4	85	7.7	810	73.5	530	1,632
成田-新千歳	24,400	3	2.1	3	2.1	3	2.1	12	8.4	10	7.0	16	11.2	96	67.1	58	201
成田-伊丹	34,600							1	5.9	5	29.4	5	29.4	6	35.3	10	27
成田-関西	17,200			1	2.0	1	2.0			3	6.0	10	20.0	35	70.0	33	83
成田-福岡	23,300			1	1.0	2	2.0	2	2.0	16	16.0	13	13.0	66	66.0	57	157
成田-那覇	29,300			2	7.7	2	7.7			14	53.8	3	11.5	5	19.2	17	43
伊丹-新千歳	62,900			16	7.7	2	1.0	6	2.9	14	6.7	30	14.4	140	67.3	161	369
伊丹-福岡	33,700	2	1.2			4	2.4	11	6.6	13	7.8	53	31.9	83	50.0	94	260
伊丹-那覇	52,400	3	1.8	5	3.0	11	6.7	9	5.5	17	10.4	24	14.6	95	57.9	152	316

◎例えば、羽田－新千歳を利用した 13 人は、普通運賃 46,300 円の 0～10%引きの価格の航空券を利用したことを示している。

※なお、本調査は調査票の構造上、複数の国内線を乗り継ぐ場合には乗継先路線の利用航空券種を把握できない。

表９－３　OD 別 利用航空券の種類

表９－４　OD 別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表９－３・表９－４は、回答者の利用する空港間 OD 別に、表９－１・表９－２を集計したものである。ただし、国内線を乗り継ぐ回答者については、利用する空港間 OD のうち、最初に搭乗した区間のみが集計対象であり、乗継先の区間については調査対象となっていない。

直行便の無い区間における乗継運賃やパッケージツアーの利用状況の把握等に利用できる。

表 10　OD 別 乗り換え空港

表 10 は、空港間純流動ベース（表 1）による空港間 OD ペアについて、直行便利用と国内線乗継利用の件数、並びに乗継空港について集計したもので、乗継利用の多い順に、上位 3 空港までの名称を掲載している。但し、２回以上国内線を乗り継いだ回答者については、“２回乗継”とし、空港名を挙げずに集計している。また、国内線を乗り継ぐ為に、地上交通機関を利用して空港間を移動した場合(成田－羽田間等)も乗り換え回数として集計をしている。

表 11－１　出発空港別 最終アクセス手段　／　到着空港別 最初イグレス手段　／　駐車場利用の有無

表 11－１は、各空港について、回答者が出発地から出発空港に至るまでに最後に利用した交通手段（最終アクセス手段)、及び目的空港から目的地へ移動する際に、最初に利用する予定の交通手段（最初イグレス手段）について集計をしている。なお、集計区分は調査票に記載の 15 区分にて行っている。

また、最終アクセス手段“自家用車”の回答者については、駐車場利用の有無について、“空港内（空港内の駐車場に停めている)”、“近辺（空港外の近くの駐車場に停めている)”、“無し（同乗者が乗って帰った)”の 3 区分にて集計をしている。

表 11－２　出発空港別 代表アクセス手段　／　到着空港別 代表イグレス手段

表 11－２は、各空港のアクセス手段、イグレス手段として回答された複数の交通手段について、優先順位の高い交通手段を代表手段として集計している。交通手段の優先順位は下記のとおりとした。

【順位設定】（航空）＞（軌道系交通）＞（船舶）＞（道路交通）＞（その他）
選択肢：1. 国際線＞2. 新幹線＞3. 有料特急＞4. JR 在来線＞5. 私鉄・地下鉄＞6. モノレール＞7. 船＞8. 空港直行バス＞9. 高速バス＞10. 貸切・観光バス＞11. 路線バス・市内電車＞12. タクシー・ハイヤー＞13. レンタカー＞14. 自家用車等＞15. その他

表 12　出発空港別アクセス所要時間・乗り換え回数

表 12 は、各空港について、回答者が出発地から出発空港に至るまでに要した所要時間の合計（アクセス所要時間）と、アクセス交通の乗換回数について集計をしたものである。

表 13　出発空港別アクセス経費

表 13 は、各空港について、回答者が出発地から出発空港に至るまでに要した費用の合計（アクセス経費）について集計したものである。なお、公共交通機関だけでなく、自家用車等の利用者も集計に含んでいる。

表 14　出発空港別見送り人数・空港滞留時間

表 14 は、各空港について、回答者「1 人当たりの見送り人数」と、出発空港に到着してから搭乗便出発までの「空港滞留時間」について集計したものである。

回答者「1 人当たりの見送り人数」は、「見送り人数（問 4-3)」÷「本人含む同行者数（問 4-1)」として計算したものである。

表 15－１　空港間移動の手段
表 15－２　空港間移動の所要時間
表 15－３　空港間移動の経費

表 15 は、海外から国際線を利用して成田空港・関西空港・中部空港のいずれかの国際空港に到着した回答者のうち、国際線到着空港とは異なる空港から国内線に搭乗した回答者を対象として、空港間の地上移動の状況を集計したものである。

集計は下記の 4 区間について行っている。

【集計区間】

① 海外発 →（国際線）→ 成田空港 →（地上移動）→ 羽田空港 →（　国内線　）→ 国内各空港
② 海外発 →（国際線）→ 関西空港 →（地上移動）→ 伊丹空港 →（　国内線　）→ 国内各空港
③ 海外発 →（国際線）→ 関西空港 →（地上移動）→ 神戸空港 →（　国内線　）→ 国内各空港
④ 海外発 →（国際線）→ 中部空港 →（地上移動）→ 小牧空港 →（　国内線　）→ 国内各空港

＜集計対象区間＞　　＜本調査を受けた区間＞

附表１　路線別内際乗継利用回答状況（海外→国内線乗継）
附表２　路線別内際乗継利用回答状況（国内線→海外乗継）

附表１／附表２は、国内線と国際線の乗継利用の状況について集計したものであり、海外を出発地、もしくは海外を目的地とした回答者に着目した集計表としている。

附表１は、海外を出発地とする回答者の「国際線到着空港」と、乗り継いだ先の国内線（路線名）について示している。なお、国内線を複数区間乗り継ぐ場合には、最初に搭乗する路線を集計している。

附表２は、海外を目的地とする回答者の「国際線出発空港」と、最後に利用する国内線（路線名）について示している。すなわち、国内線を複数区間乗り継いだ場合には、最後に搭乗予定の路線を集計している。

例）附表１　海外→国内線乗継（抜粋）

例）附表２　国内線→海外乗継（抜粋）

国内線出発空港		乗換先国内線／行き先空港名 釧路	函館	旭川	帯広
函館発　国内線　計					
国際線到着空港内訳	不　明				
利尻発　国内線　計					
国際線到着空港内訳	中　部				
新千歳発　国内線　計		1			
国際線到着空港内訳	新千歳				
	成　田				
	不　明	1			
大館能代発　国内線　計					
国際線到着空港内訳	不　明				
茨城発　国内線　計					
国際線到着空港内訳	不　明				
成田発　国内線　計					
国際線到着空港内訳	成　田				
	羽　田				
	不　明				
羽田発　国内線　計		5	4	19	5
国際線到着空港内訳	成　田		1		
	羽　田		1	8	2
	不　明	5	2	11	3

例えば、
左に例示する赤丸は、海外を出発地とし、羽田発函館行きの国内線を利用した回答者 4 名のうち、1 名は成田、1 名は羽田に国際線で到着したと回答し、2 名の国際線到着空港名が不明であったことを示している。

国内線到着空港		国内線出発空港（最終利用区間の搭乗空港） 稚内	釧路	函館	旭川	帯広
釧路着　国内線　計						
国際線出発空港内訳	成　田					
函館着　国内線　計						
国際線出発空港内訳	不　明					
新千歳着　国内線　計		4	2	2		
国際線出発空港内訳	新千歳			1		
	不　明	4	2	1		
三沢着　国内線　計						
国際線出発空港内訳	不　明					
庄内着　国内線　計						
国際線出発空港内訳	不　明					
成田着　国内線　計					6	
国際線出発空港内訳	成　田				4	
	不　明				2	
羽田着　国内線　計			2	2	4	5
国際線出発空港内訳	成　田					
	羽　田		2	1	1	4
	不　明			1	3	1

例えば、
左に例示する赤丸は、海外を目的地とし、函館発羽田行きの国内線を利用した回答者 2 名のうち、1 名は羽田から国際線に搭乗すると回答し、1 名の国際線出発空港名が不明であったたことを示している。

なお、附表１／附表２共に、日本籍・外国籍を合わせた集計結果であるが、調査票は一部の設問（問 1、問 5-1）を除いて日本語のみで質問を行っており、日本語を理解できない場合には、国際線利用空港を回答出来ない点に留意する必要がある。

【参考】各集計表の集計範囲

調査日において、回答者 N が下図の様な動きをした場合、その行動は次頁に示すように集計される。

（回答者 N の動き）

- C 県に在住の回答者 N が、A 県 a 市を出発し、B 県の X 空港にて国内線（第 1 区間）に搭乗し、Y 空港で国内線（第 2 区間）を乗りつぎ、C 県の Z 空港で降機後、陸上交通で目的地 C 県 c 市に移動した場合。

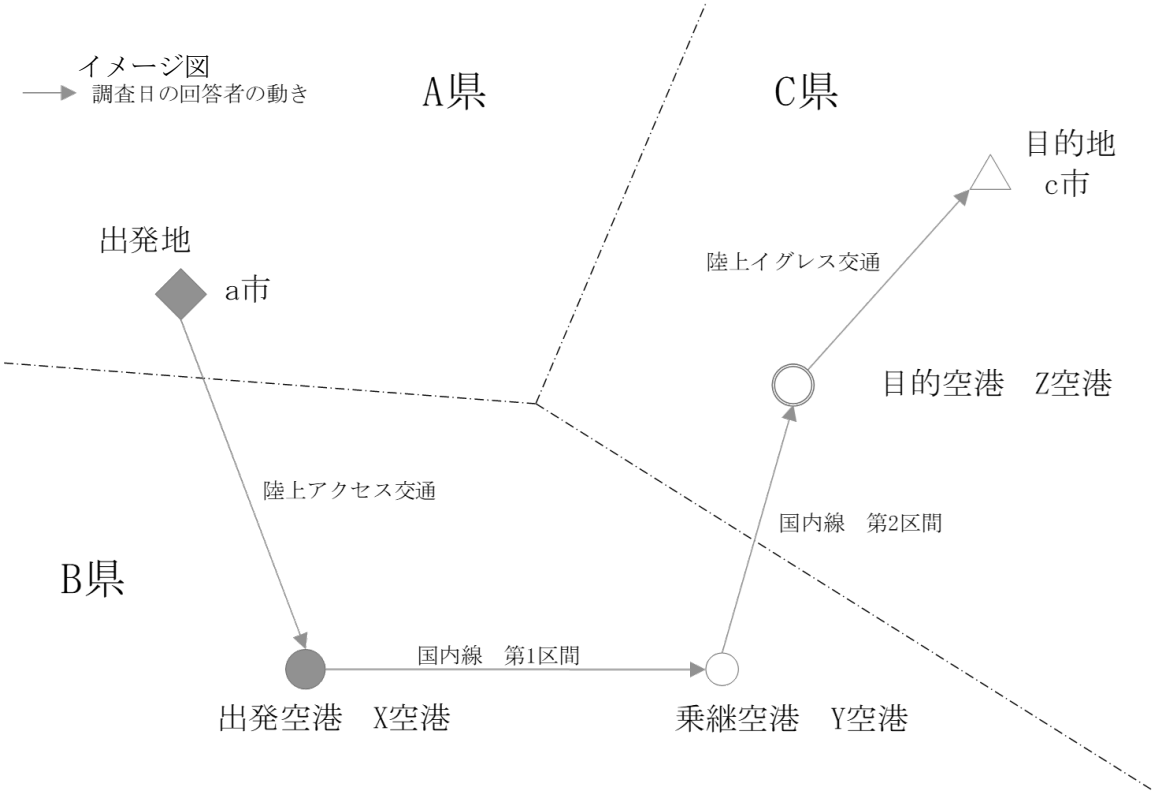


表１　空港間純流動表

- X 空港→Z 空港への移動を 1 トリップとして集計。

表２　空港間総流動表

- X 空港→Y 空港、Y 空港→Z 空港への移動をそれぞれ 1 トリップ、計 2 トリップとして集計。

表３　県間流動表

- A 県→C 県への移動を 1 トリップとして集計。

表４　空港別　出発地・目的地・現住所地

- A 県 a 市を X 空港の出発地として集計。回答者 N の現住所として C 県を集計。
- C 県 c 市を Z 空港の目的地として集計。回答者 N の現住所として C 県を集計。

表５　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数

- 回答者 N は、X 空港の出発客、Y 空港の乗り換え客（×２）、Z 空港の到着客として集計される。

表６　OD 別旅行目的／表７　OD 別旅行日数／表８　OD 別旅行行程

- 回答者 N の旅行目的／日数／行程は、空港間 OD（X 空港発 Z 空港着）の情報として集計される。

表９－１、９－２　路線別利用航空券の種類／その他割引率の内訳

- 回答者 N の利用航空券の種類・割引率の情報は、X 空港－Y 空港路線（国内線第 1 区間）の情報として集計される。

表９－３、９－４　OD 別利用航空券の種類／その他割引率の内訳

- 回答者 N の利用航空券の種類・割引率の情報は、X 空港－Z 空港間 OD の情報として、X－Y 空港間の利用券種等の情報が集計される。

表 10　OD 別乗り換え空港

- 回答者 N は、X 空港～Z 空港間の流動に対する、Y 空港乗継利用者として集計される。

表 11　出発空港別最終アクセス手段・到着空港別最初イグレス手段・駐車場利用の有無

- 回答者 N のアクセス交通手段と駐車場利用の有無は、X 空港の情報として集計される。また、利用したイグレス交通は Z 空港のものとして、集計される。

表 12　出発空港別アクセス所要時間・乗り換え回数／表 13　出発空港別アクセス経費／表 14　出発空港別見送り人数・空港滞留時間

- 回答者 N のアクセス所要時間、乗り換え回数、経費、見送り人数、空港滞留時間は、いずれも空港 X の情報として集計される。

回答者属性　単純集計表（性別・年齢・職業・年収・現住所）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
性別	男　性	101,601	56.3	108,502	50.3
	女　性	77,904	43.2	105,826	49.1
	その他	312	0.2	403	0.2
	回答したくない	700	0.4	923	0.4
	（不　明）	24,055	－	25,400	－
	合　計	204,572	100.0	241,054	100.0
年齢	14歳以下	13,256	7.3	13,566	6.3
	15～19歳	2,873	1.6	5,908	2.7
	20～24歳	8,773	4.9	12,337	5.7
	25～29歳	13,425	7.4	19,964	9.3
	30～34歳	13,056	7.2	17,069	7.9
	35～39歳	13,082	7.2	14,545	6.8
	40～44歳	14,531	8.1	15,459	7.2
	45～49歳	15,508	8.6	17,604	8.2
	50～54歳	19,677	10.9	23,285	10.8
	55～59歳	19,655	10.9	23,138	10.7
	60～64歳	18,212	10.1	21,017	9.8
	65～69歳	13,266	7.3	14,693	6.8
	70～74歳	8,263	4.6	8,949	4.2
	75～79歳	4,657	2.6	4,974	2.3
	80歳以上	2,262	1.3	2,890	1.3
	（不　明）	24,076	－	25,656	－
	合　計	204,572	100.0	241,054	100.0
職業	会社などの従業員	73,403	41.0	89,171	41.7
	会社などの役員	18,715	10.4	16,737	7.8
	公務員・団体などの職員	12,143	6.8	16,744	7.8
	農林・漁業	912	0.5	909	0.4
	自営業・フリーランス（農林・漁業を除く）	11,223	6.3	12,273	5.7
	専門職（開業医・弁護士・大学教員・政治家など）	5,115	2.9	8,522	4.0
	派遣社員・契約社員等	2,583	1.4	3,802	1.8
	パート・アルバイト	11,912	6.6	15,877	7.4
	主婦・主夫（職業従事者を除く）	11,389	6.4	12,411	5.8
	学生・生徒・園児など	17,272	9.6	21,698	10.2
	無職	12,360	6.9	13,230	6.2
	その他	2,117	1.2	2,378	1.1
	（不　明）	25,428	－	27,302	－
	合　計	204,572	100.0	241,054	100.0
年　収 （税込み）	なし	20,162	13.8	23,318	13.5
	100万円未満	8,281	5.7	10,594	6.1
	100～199万円未満	8,716	5.9	11,010	6.4
	200～299万円未満	11,129	7.6	14,994	8.7
	300～399万円未満	13,850	9.5	19,343	11.2
	400～499万円未満	14,207	9.7	19,251	11.2
	500～699万円未満	21,512	14.7	26,211	15.2
	700～999万円未満	21,045	14.4	21,694	12.6
	1000～1499万円未満	16,519	11.3	15,073	8.7
	1500～1999万円未満	5,001	3.4	4,761	2.8
	2000万円以上	6,109	4.2	6,029	3.5
	（不　明）	58,041	－	68,776	－
	合　計	204,572	100.0	241,054	100.0

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	北　海　道	16,403	8.7	20,405	9.2
	青　森　県	1,053	0.6	1,659	0.7
	岩　手　県	567	0.3	731	0.3
	宮　城　県	4,089	2.2	3,176	1.4
	秋　田　県	1,326	0.7	1,538	0.7
	山　形　県	901	0.5	1,282	0.6
	福　島　県	804	0.4	1,122	0.5
	茨　城　県	2,513	1.3	3,468	1.6
	栃　木　県	2,100	1.1	1,488	0.7
	群　馬　県	938	0.5	1,267	0.6
	埼　玉　県	7,829	4.2	9,311	4.2
	千　葉　県	9,726	5.2	11,252	5.1
	東　京　都	31,325	16.7	36,392	16.4
	神 奈 川 県	16,573	8.8	17,889	8.1
	新　潟　県	1,405	0.7	1,708	0.8
	富　山　県	534	0.3	647	0.3
	石　川　県	774	0.4	1,103	0.5
	福　井　県	326	0.2	461	0.2
	山　梨　県	394	0.2	1,223	0.6
	長　野　県	1,048	0.6	1,191	0.5
	岐　阜　県	1,974	1.1	1,468	0.7
	静　岡　県	1,578	0.8	2,132	1.0
	愛　知　県	7,217	3.8	8,673	3.9
	三　重　県	1,119	0.6	1,172	0.5
	滋　賀　県	926	0.5	1,122	0.5
	京　都　府	1,935	1.0	2,332	1.1
	大　阪　府	10,976	5.9	13,049	5.9
	兵　庫　県	6,444	3.4	8,081	3.6
	奈　良　県	1,058	0.6	1,278	0.6
	和 歌 山 県	679	0.4	1,041	0.5
	鳥　取　県	754	0.4	999	0.5
	島　根　県	1,065	0.6	1,304	0.6
	岡　山　県	1,191	0.6	1,644	0.7
	広　島　県	2,515	1.3	2,939	1.3
	山　口　県	1,440	0.8	2,132	1.0
	徳　島　県	839	0.4	1,222	0.6
	香　川　県	1,232	0.7	1,525	0.7
	愛　媛　県	2,421	1.3	3,638	1.6
	高　知　県	996	0.5	1,603	0.7
	福　岡　県	13,082	7.0	15,310	6.9
	佐　賀　県	1,097	0.6	1,480	0.7
	長　崎　県	2,619	1.4	3,674	1.7
	熊　本　県	3,299	1.8	3,935	1.8
	大　分　県	1,551	0.8	1,968	0.9
	宮　崎　県	2,450	1.3	3,231	1.5
	鹿 児 島 県	3,682	2.0	4,852	2.2
	沖　縄　県	7,628	4.1	8,109	3.7
	海　外	5,167	2.8	4,290	1.9
	（不　明）	17,010	－	19,538	－
	合　計	204,572	100.0	241,054	100.0

【参考：令和５年度調査】　回答者属性　単純集計表（性別・年齢・職業・年収・現住所）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
性別	男　性	92,270	60.0	100,543	52.2
	女　性	61,622	40.0	92,116	47.8
	（不　明）	13,497	－	15,983	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0
年齢	14歳以下	5,858	3.9	10,386	5.5
	15～19歳	3,026	2.0	5,934	3.1
	20～24歳	7,533	5.0	10,217	5.4
	25～29歳	10,294	6.8	16,229	8.6
	30～34歳	10,350	6.8	14,122	7.5
	35～39歳	10,730	7.1	13,435	7.1
	40～44歳	11,881	7.8	13,823	7.3
	45～49歳	14,152	9.3	16,458	8.7
	50～54歳	17,685	11.7	20,784	11.0
	55～59歳	16,995	11.2	20,748	10.9
	60～64歳	15,169	10.0	18,018	9.5
	65～69歳	12,018	7.9	13,048	6.9
	70～74歳	9,105	6.0	9,001	4.7
	75～79歳	4,405	2.9	4,564	2.4
	80歳以上	2,456	1.6	2,737	1.4
	（不　明）	15,732	－	19,138	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0
職業	管理的職業	32,773	21.7	29,625	15.8
	専門・技術・事務関係職業	33,055	21.9	52,550	28.0
	販売・サービス関係職業	21,745	14.4	21,577	11.5
	農業漁業関係職業	2,374	1.6	2,234	1.2
	生産・運輸関係職業	4,148	2.8	6,002	3.2
	その他の職業	19,073	12.7	27,765	14.8
	中学生以下	4,582	3.0	8,675	4.6
	高校生以上の学生	5,919	3.9	9,339	5.0
	主婦・主夫	13,704	9.1	16,289	8.7
	無　職	13,308	8.8	13,601	7.2
	（不　明）	16,708	－	20,985	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0
年　収 （税込み）	なし	18,622	13.2	26,910	15.5
	100万円未満	9,260	6.6	11,028	6.4
	100～199万円未満	8,636	6.1	11,595	6.7
	200～299万円未満	11,714	8.3	15,763	9.1
	300～399万円未満	13,566	9.6	19,509	11.3
	400～499万円未満	13,264	9.4	18,551	10.7
	500～699万円未満	19,462	13.8	23,992	13.9
	700～999万円未満	20,203	14.3	20,826	12.0
	1000～1499万円未満	15,540	11.0	14,548	8.4
	1500～1999万円未満	4,619	3.3	4,493	2.6
	2000万円以上	6,003	4.3	5,853	3.4
	（不　明）	26,500	－	35,574	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現　住　所	北　海　道	15,267	9.7	19,427	10.0
	青　森　県	992	0.6	1,277	0.7
	岩　手　県	433	0.3	863	0.4
	宮　城　県	2,341	1.5	2,559	1.3
	秋　田　県	1,234	0.8	1,638	0.8
	山　形　県	804	0.5	1,350	0.7
	福　島　県	606	0.4	1,073	0.6
	茨　城　県	2,042	1.3	3,259	1.7
	栃　木　県	830	0.5	1,111	0.6
	群　馬　県	859	0.5	1,081	0.6
	埼　玉　県	6,482	4.1	8,219	4.2
	千　葉　県	8,917	5.7	10,188	5.2
	東　京　都	25,550	16.3	30,273	15.6
	神 奈 川 県	12,678	8.1	14,972	7.7
	新　潟　県	1,091	0.7	1,419	0.7
	富　山　県	455	0.3	556	0.3
	石　川　県	745	0.5	916	0.5
	福　井　県	305	0.2	415	0.2
	山　梨　県	359	0.2	526	0.3
	長　野　県	618	0.4	1,108	0.6
	岐　阜　県	841	0.5	1,192	0.6
	静　岡　県	1,373	0.9	1,934	1.0
	愛　知　県	5,662	3.6	7,725	4.0
	三　重　県	783	0.5	1,136	0.6
	滋　賀　県	663	0.4	931	0.5
	京　都　府	1,498	1.0	1,956	1.0
	大　阪　府	10,203	6.5	12,512	6.4
	兵　庫　県	6,121	3.9	7,463	3.8
	奈　良　県	1,033	0.7	1,237	0.6
	和 歌 山 県	691	0.4	932	0.5
	鳥　取　県	624	0.4	917	0.5
	島　根　県	818	0.5	1,320	0.7
	岡　山　県	1,177	0.8	1,521	0.8
	広　島　県	2,187	1.4	2,906	1.5
	山　口　県	1,453	0.9	1,786	0.9
	徳　島　県	758	0.5	1,244	0.6
	香　川　県	1,055	0.7	1,378	0.7
	愛　媛　県	2,080	1.3	3,015	1.6
	高　知　県	999	0.6	1,554	0.8
	福　岡　県	10,440	6.7	12,218	6.3
	佐　賀　県	1,146	0.7	1,524	0.8
	長　崎　県	2,591	1.7	3,544	1.8
	熊　本　県	2,877	1.8	3,746	1.9
	大　分　県	1,602	1.0	1,932	1.0
	宮　崎　県	2,311	1.5	2,873	1.5
	鹿 児 島 県	4,045	2.6	4,402	2.3
	沖　縄　県	6,276	4.0	7,739	4.0
	海　外	2,863	1.8	1,539	0.8
	（不　明）	10,611	－	14,236	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0